

アワビ試験操業における単価と漁獲物サイズの関係

福島県水産海洋研究センター-漁場環境部

1 部門名

水産業－栽培漁業－アワビ

2 担当者名

金子 直道

3 要旨

いわき地区のアワビ試験操業は、2014年以降相対取引もしくは全地区一括で入札されていたが、2019年から地区ごとの入札となった。そこで、サイズと単価の関係を調べたところ、震災前には無い、有意な正の相関がみられた（図1、図2）。このことから、現状では大型のアワビを水揚げした方が、単価が高くなる可能性が高いと考えられる。

- (1) 2019年5月～9月に水揚げされたアワビについて、地区ごとに殻長、体重を測定し、また、地区ごとの単価を記録した。
- (2) 2008～2010年の月別地区別平均体重（g）^{*}と単価（円/kg）には有意な相関はみられなかった（図1）。^{*}推定値
- (3) 2019年の月別地区別平均体重（g）と単価（円/kg）に有意な正の相関（ $p < 0.05$ ）がみられた（図2）。
- (4) 現状では大型のアワビを水揚げした方が、単価が高くなる可能性が高いと考えられる。

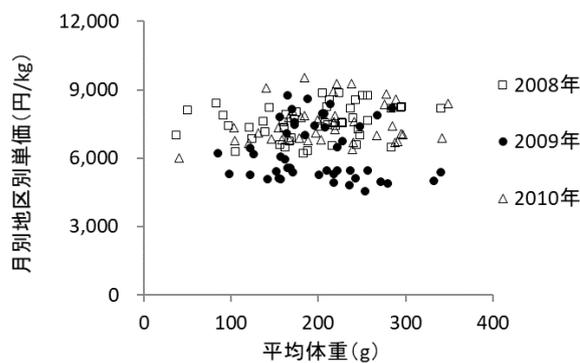


図1 2008～2010年の月別地区別平均体重（g）と単価の関係

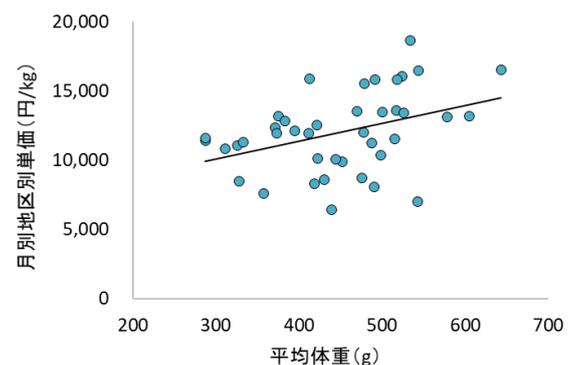


図2 2019年の月別地区別平均体重（g）と単価の関係

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成30年度～令和2年度
- (2) 研究課題名 漁場環境保全技術に関する研究

5 主な参考文献・資料

なし